



地区補助金事業報告

光ロータリークラブ

プロジェクト名：光市総合福祉センター“あいぱーく光に”

認知症スクリーニング検査器『物忘れ相談プログラム』を寄贈

【プロジェクト概要】

2011年8月8日、認知症サポーター養成講座を開催し、会員全員が認知症サポーターとなるとともに、光市総合福祉センター(あいぱーく光)にアルツハイマー型認知症スクリーニング検査器「物忘れ相談プログラム」を寄贈しました。

アルツハイマー型認知症は、緩徐に進行するため、気付いた時には症状が進行しているケースも少なくありません。アルツハイマー型認知症には進行を遅らせる治療薬があり、早期発見、早期治療によって患者さんのQOL(生活の質)向上、家族の負担軽減が期待でき、高齢者が少しでも安心して生活できる社会の実現を目指しています。



認知症サポーター養成講座

山口新聞 平成 23 年 8 月 9 日掲載



設置後、プログラムを体験



認知症スクリーニング検査器
「物忘れ相談プログラム」

光市に事務局を置く光ロータリークラブ(平田万三会長、49人)は8日、認知症の早期発見に役立てる「物忘れ相談プログラム」(64万円)を、同市に贈った。装置は同日、あいぱーく光に設置された。同市光井の市総福祉センター、あいぱーく光に設置された。同市光井の市総福祉センター、あいぱーく光に設置された。同市光井の市総福祉センター、あいぱーく光に設置された。